

人口	427,075人	人口	427,075人
男	209,965人	男女	209,965人
女	217,110人	(前月より)	143人増
(前月より)	143人増	世帯	189,724世帯
世帯	189,724世帯	(前月より)	109世帯増
(前月より)	109世帯増	(2015年8月1日現在)	



発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



9月議会が開会

補正予算など28議案を審議

会期は10月5日まで

予 算 案

今回の補正予算は、一般会計41億2531万9千円、特別会計2億6703万6千円、一般会計と特別会計の合計は43億9235万5千円となります。

主な内容は、ごみ減量の推進と資源化率向上を図るための「容器包装プラスチック分別収集事業」、子どもの多様な能力を育む環境をつくるための「ICT(情報通信技術)活用推進研究事業」「小学校特別支援教室設置事業」等で

条 例 案

○南第一小学校区に設置されている児童保育クラブの移転に伴い、名称と位置を改めるため、所要の改正をする「町田市児童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例」

○児童数が急増している小山・小山ヶ丘地区に子どもセンターの分館を設置するため、所要の改正をする「町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例」

○南第一小学校区に設置されている児童保育クラブの移転に伴い、名称と位置を改めるため、所要の改正をする「町田市児童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例」

○児童数が急増している小山・小山ヶ丘地区に子どもセンターの分館を設置するため、所要の改正をする「町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例」

予 算 案

今回の補正予算は、一般会計41億2531万9千円、特別会計2億6703万6千円、一般会計と特別会計の合計は43億9235万5千円となります。

主な内容は、ごみ減量の推進と資源化率向上を図るための「容器包装プラスチック分別収集事業」、子どもの多様な能力を育む環境をつくるための「ICT(情報通信技術)活用推進研究事業」「小学校特別支援教室設置事業」等で

9月25日(金)から 市民バス「まちっこ」

「中町一丁目バス停」を町田シバヒロ前へ移設

9月25日(金)から
●町田市民病院方面のバス停が移動
町18(まちっこ公共施設巡回ルート)
町28(まちっこ相原ルート)
●バス停新設
町76(成瀬台→町田バスセンター)

①中町一丁目(町田市民病院方面)
②中町一丁目(三塚方面) ※移設なし
中町一丁目(町田駅方面) ※移設なし

今号の紙面から

4面
平成27年国勢調査を実施します

「まちっこ」バス停の移設

市民バス「まちっこ」を、さらに便利に利用していただくため、中町一丁目バス停を町田シバヒロの前へ移設します。

○移設バス停 中町一丁目(町田市民病院方面)(右下図赤色路線)

○路線バスが停車します(右下図緑色路線)

●中町一丁目(三塚方面)(右図緑色路線)

●中町一丁目(町田市民病院方面)(右下図赤色路線)

町田市民文学館

来館者50万人を達成!

町田市民文学館は、2006年10月27日に開館し、地域に根ざした文学館として、町田にゆかりのある作家の資料収集・公開に加え、絵本の原画や映像、模型を展示するなど、親しみやすい展示会を開催し、来館者も増加しています。

8月22日(土)には開館からの来館者数が50万人を突破しました。50万人目となった市内在住の池原太郎さん、実歩さん、しずくちゃんご家族には、石阪市長から町田市ゆかりの作家の絵本と花束が贈られました。

「詩や短歌が好き」とおっしゃる実歩さんは、開館時からファンで、最近は一歳のしずくちゃんとおはなし会を楽しんでいるそうです。今回の感想を「オープン当初から文学館を知っていたので、50万人目ということを感慨深く思います」と話されました。

問 同館 ☎739・3420 FAX739・3421

町田に静かで安全な空を返せ!

第四次厚木基地騒音訴訟 控訴審判決、市長コメント

7月30日に、東京高等裁判所で言い渡された「第四次厚木基地騒音訴訟」の控訴審判決では、米軍機の飛行差し止めは認められなかったものの、自衛隊機の夜間・早朝の飛行差し止めは2016年12月31日まで認められ、また、同時期までの将来分の騒音被害に対する賠償請求も認められました。

町田市上空を飛行する厚木基地の米空母艦載機の騒音は、市民生活に多大な影響を及ぼしています。今回の判決を国は重く受け止め、騒音被害の解消に向け、積極的に取り組んでほしいと思います。

市では、米空母艦載機移駐の早期かつ着実な実施や、夜間と早朝の飛行訓練・市街地上空での低空飛行・旋回飛行の禁止など、航空機騒音の軽減を国・米軍に要請してきています。

今後も市民の生活環境を守るため、航空機騒音の軽減を国と米軍に粘り強く要請していきます。

問 企画政策課 ☎724・2103 FAX050・3085・3082

生活に欠かせない施設

9月10日は 下水道の日

下水道は、毎日の暮らしや都市活動で発生する汚水をきれいにして河川や海へ戻すとともに、降った雨を速やかに河川に流すことで、安心でよい良い暮らしを支える、生活に欠かせない施設です。

「下水道広報紙「下水道通信」を発行」

市では、市民の皆さんに下水道事業に対する理解と関心を深めていただくため、下水道の日「下水道通信」を発行します。

下水処理の仕組みや正しい「下水道広報紙「下水道通信」を発行」

市では、市民の皆さんに下水道事業に対する理解と関心を深めていただくため、下水道の日「下水道通信」を発行します。

下水処理の仕組みや正しい「下水道広報紙「下水道通信」を発行」

町田市民文学館

町田市民文学館は、2006年10月27日に開館し、地域に根ざした文学館として、町田にゆかりのある作家の資料収集・公開に加え、絵本の原画や映像、模型を展示するなど、親しみやすい展示会を開催し、来館者も増加しています。

8月22日(土)には開館からの来館者数が50万人を突破しました。50万人目となった市内在住の池原太郎さん、実歩さん、しずくちゃんご家族には、石阪市長から町田市ゆかりの作家の絵本と花束が贈られました。

「詩や短歌が好き」とおっしゃる実歩さんは、開館時からファンで、最近は一歳のしずくちゃんとおはなし会を楽しんでいるそうです。今回の感想を「オープン当初から文学館を知っていたので、50万人目ということを感慨深く思います」と話されました。

問 同館 ☎739・3420 FAX739・3421

町田市下水道キャラクター「雨かえる」

下水道の使い方のほか、大雨や災害時の備え等の情報をお届けします。9月10日の新聞折り込みなどで配布します。町田市ホームページでもご覧いただけます。

「PRイベントを開催」

「見て」「触れて」「知って」をテーマに、普段は目にするここのない実物を展示します。

○日時 9月7日(月)～11日(金)の午前8時30分～午後5時

○会場 イベントスタジオ(市庁舎1階)

○展示内容 マンホールのふた・マンホールトイレ・公共汚水ます等の実物展示、雨水ます・浄化槽の模型展示、各種パネルの展示等

問 下水道総務課 ☎724・4287 FAX050・3161・6448

第四次厚木基地騒音訴訟 控訴審判決、市長コメント

7月30日に、東京高等裁判所で言い渡された「第四次厚木基地騒音訴訟」の控訴審判決では、米軍機の飛行差し止めは認められなかったものの、自衛隊機の夜間・早朝の飛行差し止めは2016年12月31日まで認められ、また、同時期までの将来分の騒音被害に対する賠償請求も認められました。

町田市上空を飛行する厚木基地の米空母艦載機の騒音は、市民生活に多大な影響を及ぼしています。今回の判決を国は重く受け止め、騒音被害の解消に向け、積極的に取り組んでほしいと思います。

市では、米空母艦載機移駐の早期かつ着実な実施や、夜間と早朝の飛行訓練・市街地上空での低空飛行・旋回飛行の禁止など、航空機騒音の軽減を国・米軍に要請してきています。

今後も市民の生活環境を守るため、航空機騒音の軽減を国と米軍に粘り強く要請していきます。

問 企画政策課 ☎724・2103 FAX050・3085・3082

町田に静かで安全な空を返せ!

第四次厚木基地騒音訴訟 控訴審判決、市長コメント

7月30日に、東京高等裁判所で言い渡された「第四次厚木基地騒音訴訟」の控訴審判決では、米軍機の飛行差し止めは認められなかったものの、自衛隊機の夜間・早朝の飛行差し止めは2016年12月31日まで認められ、また、同時期までの将来分の騒音被害に対する賠償請求も認められました。

町田市上空を飛行する厚木基地の米空母艦載機の騒音は、市民生活に多大な影響を及ぼしています。今回の判決を国は重く受け止め、騒音被害の解消に向け、積極的に取り組んでほしいと思います。

市では、米空母艦載機移駐の早期かつ着実な実施や、夜間と早朝の飛行訓練・市街地上空での低空飛行・旋回飛行の禁止など、航空機騒音の軽減を国・米軍に要請してきています。

今後も市民の生活環境を守るため、航空機騒音の軽減を国と米軍に粘り強く要請していきます。

問 企画政策課 ☎724・2103 FAX050・3085・3082

町田市民文学館

町田市民文学館は、2006年10月27日に開館し、地域に根ざした文学館として、町田にゆかりのある作家の資料収集・公開に加え、絵本の原画や映像、模型を展示するなど、親しみやすい展示会を開催し、来館者も増加しています。

8月22日(土)には開館からの来館者数が50万人を突破しました。50万人目となった市内在住の池原太郎さん、実歩さん、しずくちゃんご家族には、石阪市長から町田市ゆかりの作家の絵本と花束が贈られました。

「詩や短歌が好き」とおっしゃる実歩さんは、開館時からファンで、最近は一歳のしずくちゃんとおはなし会を楽しんでいるそうです。今回の感想を「オープン当初から文学館を知っていたので、50万人目ということを感慨深く思います」と話されました。

問 同館 ☎739・3420 FAX739・3421